

「凄テク三姉妹のエロ責めに耐えられたら本番中出しさせてあげるっ！
途中で泣きベソかいても許してあげないけどねwww」
チャプター5

【ミナ】起きて。起きてお兄さん。

【リナ】あ、起きました姉さま。

【ミナ】おはよ、お兄さん。

【リナ】そうよ。お兄さん、ヒナのパイズリで気を失っちゃったの。

【ミナ】あは……別に恥ずかしがらなくてもいいよ。気持よすぎて失神しちゃう人、たまにいるから。

【ミナ】ところでお兄さん、なんで目隠しされてるか、わかる？

【リナ】これからお兄さんには、延長戦を戦ってもらおうと思うの。

【ミナ】お兄さん結構頑張ってくれたから……、私たちからのご褒美だよ。

【リナ】お兄さんにもう一度だけチャンスをあげる。これでお兄さんが勝ったら、今までの負けは全部帳消し。お兄さんの大逆転勝利ってことにしてあげるわ。

【ミナ】お相手は……。

【ヒナ】もちろん、ヒナだよ。

【リナ】そう。仰向けに寝転がったお兄さんの太ももの上に乗ってるのが、ヒナよ。

【ヒナ】なんでヒナがお兄さんの上に乗ってるかわかる？

【リナ】ふふっ……。教えてあげる。この勝負が、ヒナのおまんことお兄さんのおちんちん……。どっちが強いかを決める戦いだからよ。

【ミナ】ということはつまり……。

【ヒナ】お兄さんの童貞……。ヒナが奪ってあげる。

【ヒナ】ていうかお兄さんのおちんちん、結構好きな形してるから……。挿れたくなくなっちゃっただけなだけどね。

【リナ】あは……。なに今更戸惑っちゃって。本当なら負けてすぐ帰らなくちゃいけないのに、本番やらせてもらえるのよ。ありがたく思いなさい？

【ミナ】このチャンスを逃したらお兄さん、たぶん一生童貞のままだよ。だから……。ね？ いいでしょ？ お願いしますって一言言うだけでいいんだよ？

【リナ】どうするの？ 聞かせて？

【リナ】ヒナ、聞いたわね。

【ヒナ】うん。お兄さんの童貞、いっただきまーす。

【ミナ】ん？ どうしたのお兄さん？ 心の準備がまだ？

【リナ】そういえば、おちんちんがへなへなのままね。

@5026/F20V

【ヒナ】んもう、はやくカタくして！

【ミナ】じゃ……。お兄さんの大好きな耳なめで、おちんちんおっきくなるうね。

【ヒナ】あは、おっきくなってきたあ。

【ミナ】これで……。準備オツケーだね。

【リナ】ふふ……何度でも立たせてあげるから、心配しないで。

【ヒナ】ヒナのおまんこはもう準備できてるから……挿れるね？ ……んっ。

【ミナ】……入ったよお兄さん。

【リナ】目隠しされてるからわからないと思うけど、おちんちんがヒナの中にずっぶり入ってるの……。わかる？

【ミナ】ロリまんこの具合はどう、お兄さん？

【ヒナ】ふふっ、あったかいでしょ。気持ちいい？ ねえ？

【ミナ】そう。ぶにぶに〜て柔らかくてえ……。にゅくにゅく〜っておちんちにまとわりついてきてえ……。キツキツに締め付けてくるでしょ？ それが女の子のオマンコだよ。

【リナ】入ってるところ、見たい？

【ミナ】そうだよね、見たいよね。でも……だめ。見えない方がおちんちんの感覚が研ぎ澄まされて……気持ちよくなるから。

【リナ】お兄さんにたくさん気持ちよくなってもらうためなの。我慢しなさいね。

【ミナ】わかってくれるの？ ありがと。ふふ……いい子いい子

【ヒナ】じゃ、動くね。おにいさんのおちんちんなか……ヒナのオマンコでいじめあげちゃうんだから。

【ヒナ】んっ……。んっ……。んっ……。んっ……。どお？、んっ……。ヒナのオマンコ。気持ち……。いいでしょっ？

【ミナ】ほわああああ、なにこれ……。気持ちよすぎるよお……。って顔してるね、お兄さん。

【リナ】ヒナが腰を動かすたびに、お兄さん……どんどん顔がとろとろになっていったらいいわよ。

【ヒナ】んふふう、おにいさんのおちんちん、ぜえくんぶ溶かしつくすまでえ……、ヒナにはもう何やっても絶対に勝てないんだって思い知らせてあげるね。ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ほらっ……、ふふっ……、お兄さんイジメるの……楽しっ、んっ……、んふふっ。

【リナ】姉さま、ヒナをあまり調子に乗せると……。

【ミナ】そうね。ここはお兄さんをちょっとだけ応援してあげよっか。

【リナ】はい、姉さま。

【ヒナ】んふ……、お兄さんのがつ、カタク……なってきた……あつ。

【ヒナ】すごっ、どんどんカタくなるっ……、んっ……、んっ……、んっ……、好きっ……、この形……、このカタさ……、好きいつ。

【リナ】ほらお兄さん、おちんちんもお耳も、気持ちよすぎてどうしようもないかもしれないけど、頑張って我慢するの。そうすればきっと、お兄さんでもヒナに……。

【ミナ】私たちが応援してあげるから……頑張って。お兄さんの男らしさで、クソ生意気な小娘に言うこと聞かせるチャンスだよ。絶対勝とうね？　ね？

【ヒナ】ちよっ……だめえっ……。お姉ちゃんたち……お兄さんのこと応援するの……ずるっ……。んっ……、んあっ、あっ、あっ、あっ、やんっ、やだっ、私っ、お兄さんのおちんちんで……んっ……、んひっ……、気持ちよくなっちゃってるっ……。

【リナ】ほら……、あと少しよ。あと少しでヒナに勝てるわ。絶対に負けちゃダメ。ここで負けたらあなた、一生女に勝てないままよ。

【ミナ】がんばれ、がんばれお兄さん。私たちが応援しててあげる。お兄さんのおちんちん、もっとカタくして、ヒナを気持ちよくさせようね？

【ヒナ】やダツ、なにこれ……んっ、ひゃっ、ひゃうんっ、んっ、んひいつ、ひぐっ……、んっ、んあああっ、イツ、いつちやうっ、私っ……、イツちやうよおっ、こんな男にっ、イカされちやうよおっ。

【ヒナ】 もうそろそろいいんじゃない？ 演技するのも飽きてきたし。

【リナ】そうね。このへんで思い知ってもらいましょうよ。

【ミナ】じゃ……、お兄さん、目隠し取ってあげるね。ほら……。

【リナ】ほら、よく見て？

【ヒナ】にゆふふ……。ハ イ ♪

【ミナ】 お兄さんのおちんちんにかぶさってるの……、何て言うかわかるよね？

【リナ】そう。ヒナが腰の動きに合わせて、オナホールを動かしてただけ……。

【ミナ】お兄さん……これまで必死にオナホールと戦ってたんだよ？

【リナ】ま……、無理ないわよね。お兄さん……童貞だもの。女の子のオマンコとオナホルの区別なんて……つくわけないものねえ。

[illegible]

【リナ】うふ、うふふふつ、うふふふふふつ、うふふふふつ、うふふふふつ、ほんとにおバカさんよね、うふふつ、うふふふふふつ。

【ヒナ】きやはつ、きやははははつ、きやはははははつ、ヒナのオナホコキ、気持ちよかったあ？ きやははははつ、きやはははははははつ。

【ミナ】 さあ、帰る支度しよっか。

【ヒナ】プレイしゅりょ。きやははっ。

【ミナ】ん……どしたの？ なにか言いたそうにして。

【リナ】お兄さん、あなたもしかして……また射精したいの？

【ヒナ】あはっ、さてはあ……、ヒナのオナホコキとお姉ちゃんたちの耳なめで、もうとろっとなっっちゃったんじゃない？

【ミナ】なんでもいいからイきたいってこと？ ねえ？

【リナ】イきたいっていうか……負けたい、のよね？ くすくすっ。

【ヒナ】えーウソー。信じらんない。あはははっ。

【リナ】今度こそ勝てるかもって頑張ったのに、騙されてたことがわかって……、でも……不思議と悔しくなかったんじゃないかしら。違う？

【ミナ】ふふ……そうだね。お兄さんは年下の女の子に負けてドピュドピュイかされるのが大好きな負け犬君なんだもんね。

@5101/R10V

【リナ】そしてこれは、女の子に種付けするための器官……おちんちんじゃなくて、女の子に精液搾り取られちゃうしか能のない負けチンポ……だものね。くすくすくすっ。

【ミナ】また……負けたい？

【リナ】私たちに負かされたいの？

【ミナ】敗北射精……する？

【リナ】ふふっ……、どした？ どしたの？ 黙っちゃって。この期に及んで何を悩むことがあるというの？ あなたはドMでド変態な負け犬でしょ？ 答えは一つ。イかせてくださいってお願いすればいいだけよ。

【ヒナ】にゅふふ……負けた相手にイかせてくださいってお願いするの。最っ高に屈辱的だよね。うれしいでしょ？ きやははははっ。

【ミナ】え？ 聞こえない。ちゃんと大きい声で言わなきゃ。イかせてください、お願いします……でしょ？

【ミナ】はい、よくできました。

【リナ】それじゃ……、ほら、起きて。

【ミナ】こっちおいで。……ほら、ちゃんと2本の足で立って歩くの。

【ヒナ】ふふっ、膝……ガクガクだねお兄さん。かっこわる。

【ミナ】それじゃ挿れていいよ。

@5113/R10V

【リナ】ヒナが持つてるオナホに、負けチンポ……挿れていいわよ。

【ヒナ】ほら早くう。

【ミナ】お兄さんはこれから、自分で腰をふってオナホで果てるの。あつたかくてえ、又チュ又チュでえ、キツキツのオナホ……すっごい気持ちよかったでしょ？

【ヒナ】ヒナは手……動かさないからね。持つてるだけ。

【リナ】自分で腰振って、勝手に気持ちよくなって、勝手に射精しなさい。

【ヒナ】ほら早くってばあ。

【ミナ】そう。そうやってオナホに狙いを定めて……ほら、ぶっ挿しちゃえっ。

【ヒナ】あはっ、入っちゃった。いらっしやい♪

【リナ】ふふ……あいかわらず感度抜群なこと。オナホに負けチンポ包み込まれて……早くも負けそうな顔になっちゃってるわよ

【ミナ】ほら、腰をふってごらん？ 女の子をイカせるつもりでピストンしてみて。

【リナ】あは……なにそれ。へこ……へこ……へこ……へこ……って。そんなしょぼい腰振りで女の子が満足すると思ってるの？ 所詮は童貞よね。

【ミナ】ダッサ。ダサすぎ。やっぱこの人ダメだわ。一生みじめな無駄打ち射精しかできないよね、これじゃ。

【リナ】なんてことわれながら必死で腰振ってるし……。もう早く敗北射精したいってことしか頭にないみたいよ。

【ミナ】こんなあさましくてだらしのない男、ひさしぶりだね。リナ、ヒナ、最後の最後まで、徹底的に負かしてあげるわよ。

【リナ】はい、姉さま。

【ヒナ】うん、ヒナがんばる。ていうかヒナ……オナホ持ってるだけじゃ退屈だから、強弱つけてにぎにぎしたり、ぐりゅんぐりゅんって回転させたりしてあげるね。

【リナ】姉さま、私たちも。

【ミナ】お兄さんの大好きな耳なめで、追い込んであげましょ。

【ヒナ】ふふっ、必死になって腰振っちゃって、かわいー。そんなことしてもオナホはいかないのに。

【ミナ】もう気持ちよくなることしか……、私たちに負けちゃうことしか頭にないのよね。ほおら、オナホで負けチンポいじめられて気持ちよくなっちゃいな。

【リナ】私たち年下の女の子に完璧に負かされて、その子たちの前でこんな恥ずかしい姿をさらして……。負けちゃう……。オナホにすら負けちゃう……。お兄さん……ほんっと弱すぎ……。

【ヒナ】お兄さんの顔、もう余裕がなくなってきた。わかるよ、もういきそうなんでしょ。ふふっ、オナホに負けちゃう寸前なんでしょ？ あははっ、なんかもう、下僕って感じだね、この人。

【ミナ】もう私たちのいいなりだもんね、この人。ほら下僕、マゾチンポから精液吐き出させたいの？ ん？ こんな無様でだらしくなくて情けないことされて、それでも射精したいの？

【リナ】気持よければ何でもいいのよ、この男は。女の子に負けるのが大好きな負け犬だもの。もうほんと、いよいよ頭の中が絶頂を迎えようとしてるんじゃないかしら。

【ミナ】ほらいきなさい。最っ高に情けなく腰をへこへこさせて、マゾチンポから精液どっぴゅうって出してごらん？ 私たちが見ててあげる。

【リナ】いきなさい。いくの。いっちゃうの。あなたは我慢できずに出しちゃうの。自分の恥ずかしいところを全部私たちの前にさらけ出して、最っ高に恥ずかしく射精しちやいなさい。

【ヒナ】ふふっ、マゾチンポがビクビクしてる。いく、いっちゃうね。ほら、イケイケイケイケ。

（射精）

【ヒナ】あはっ、出た出た。びゅくびゅくって出るのがオナホ越しに伝わってくるよ。

【ミナ】ふふっ、とうとうオナホにまで負けちゃったね、お兄さん。気持ちよかったあ？ あはははははっ。

【リナ】シャワー浴びてくるといいわ。汗と涙とよだれと我慢汁と精液でひどい姿よ。

【ミナ】はい、タオルどうぞ。

【ヒナ】足ガクガクになってるから、ドッターンって転ばないように気を付けてね。

【ミナ】ん？ ヒナ……なに書いてるの？

【ヒナ】メッセージカード。リベンジ待ってるよ。また負けに来てねって。

【リナ】負けに来てねのあとに草はやした方がいいんじゃない？

【ヒナ】あつ、そだね。そうしょーっと。三つぐらい書いとこ。あははっ。

【リナ】この人、また来ると思う？

【ヒナ】ヒナはまたいじめられに来る方にプリン1個かけるゝ。

【リナ】姉さまは？

【ミナ】私も来ると思うわ。

【リナ】なんだ。これじゃかけにならないわね。

【ミナ】リナも？

【リナ】うふふっ。